

2001年2月26日

## いすゞ 中型トラック 「フォワード」 シリーズを改良

いすゞ自動車（株）は、中型トラック「フォワード」シリーズに、新規車型の追加やアイドリングストップ&スタートシステムをオプション設定するなど、商品力の向上を図り、2月26日から全国一斉に発売する。

いすゞ自動車の中型トラック「フォワード」シリーズは、1970年の発売以来、その性能や信頼性から市場で高い評価を得ている。また、1999年に、荷台の振動を大幅に抑える4バグエアサスペンションを採用した「フォワードマックス」を発売し、中型トラック市場における高品質輸送の先鞭をつけた。

今回の改良では、GVW（車両総重量）8トンクラスの「フォワードマックス」にロングホイールベース系の車型を追加設定する。また、荷役作業時にエンジンを自動停止し、排出ガスの低減に貢献するアイドリングストップ&スタートシステムをオプション設定するなど、商品力を向上させた。

今回の主な改良点は次の通り：

### 1. 車型展開の充実

(1)4バグエアサスペンション採用車「フォワードマックス」のGVW8トンクラスの車両にロングホイールベース系車型を追加設定した。これにより、カーゴ系の車型すべてに4バグエアサスペンション搭載車を展開することとなった。

(2)「フォワード」のショートキャブ車に5段オートマチックトランスミッション車を新規設定した。(6HH1-Sエンジン搭載車を除く。)また、ホイールベース4100mm車の追加設定も行った。

### 2. アイドリングストップ&スタートシステムのオプション設定（荷役作業時用）

「アイドリングストップ&スタートシステム」を無過給エンジン搭載車にオプション設定した。荷役作業時にエンジンを自動停止するため、排出ガスの低減に貢献する。

エンジン停止～エンジン再始動までの流れ

車両停止 (\*) ⇒ チェンジレバーをニュートラルにする ⇒ パーキングブレーキを引く  
 ⇒ エンジン自動停止 ⇒ クラッチペダルを踏む ⇒ エンジン再始動 ⇒ 走行  
 (チェンジレバーはニュートラル位置)

(\*: この場合の車両停止とは、車速 0km/h、アクセルペダル OFF の状態を表わす。)

<目標販売台数> フォワードシリーズ全体で 16,000台/年

≪フォワードシリーズ 東京地区希望小売価格≫ (消費税含まず)

車型	主な仕様	最大積重量	エンジン最高出力	東京地区希望小売価格
KK-FRD35J4SXT	ドライバン 4 バッグエアサスペンション	4100kg	6HL1-S 151kw (205PS)	6,299,000 円
KK-FRR35K4SXP	キャブ付シャーシ オートマチックトランスミッション リーフサスペンション	-	6HL1-S 151kw (205PS)	5,109,000 円
KK-FRD35T4XWT	ワイド キャブ付シャーシ 4 バッグエアサスペンション	-	6HL1-S 151kw (205PS)	5,708,000 円

以上